

レース名			斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度						
中山金杯			ハンデ	GIII	中山	芝2000m	良想定	消耗	大荒れ	D						
枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	斤量	能力	コース	馬場	血統	展開	総合	人気	印	結果
1	ロードクエスト	西村淳	マツリダゴッホ	サンデーサイレンス	チーフベアハート	ダンジング	56	C	B	C	B	A	B	15	○	
2	テリトーリアル	石川	Teofilo	サドラーズウェルズ	Street Cry	ミスター・ロバーツ	56.5	C	B	A	B	C	B	5	▲	
3	ココロノトウダイ	丸山	エインシフラッシュ	キングマンボ	アグネスタキオン	サンデーサイレンス	53	C	C	A	B	C	C	9	△4	
4	マイネルサーパス	丹内	アイルハウアナザー	ミスター・ロバーツ	タマクロス	グレイソーヴィン	56.5	D	B	B	B	A	D	16	消	
5	ショウナンバルディ	津村	キングズベスト	キングマンボ	Redoute's Choice	デインヒル	54	C	A	A	B	B	B	4	○	
6	カデナ	三浦	ディープインパクト	ディープインパクト	French Deputy	ゲイストリージェント	58	B	B	D	C	D	D	8	消	
7	マウントゴールド	内田博	ステイゴールド	ステイゴールド	Mt. Livermore	ブライシング・グルーム	56	E	B	C	B	D	E	17	消	
8	リュヌルージュ	中井	モンテロッソ	ミスター・ロバーツ	メジロマックイーン	バーソロン	52	C	B	B	B	C	C	14	△3	
9	ヒシイグアス	松山	ハーツクライ	サンデーサイレンス	Bernstein	ストームキャット	54	C	C	C	C	C	C	3	△2	
10	アールスター	長岡	ロードカナロア	キングマンボ	サツカーボーイ	ファイントップ	56	C	C	D	C	B	D	12	消	
11	ディープボンド	和田竜	キズナ	ディープインパクト	キングヘイロー	リファール	56	C	B	B	B	C	C	1	△1	
12	ロザムール	北村宏	ローズキングダム	キングマンボ	Caerleon	ニジンスキ	52	D	C	B	C	D	D	13	消	
13	シークリットラン	横山武	ダンカーカー	ミスター・ロバーツ	キングカメハメハ	キングマンボ	54	C	D	D	C	D	D	10	消	
14	ヴァンケドミンゴ	藤岡康	ルーラーシップ	キングマンボ	アグネスタキオン	サンデーサイレンス	56	C	C	D	C	C	C	6	△5	
15	ダーリントンホール	Mデムー	New Approach	サドラーズウェルズ	Pivotal	ヌレイエフ	55	C	B	D	B	E	E	7	消	
16	ウインイクシード	戸崎	マンハッタンカフェ	サンデーサイレンス	ポストンハーバー	シリトルスル	56	D	B	D	C	D	D	11	消	
17	バイオスパーク	池添	オルフェーヴル	ステイゴールド	マイネルラヴ	ミスター・ロバーツ	57	C	B	D	A	D	D	2	消	

※背景色付は特注血統保持馬(名前欄に色付きは母母が保持)

※評価はこのレース中の相対評価になります

2021/1/5

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

コース特徴

小回りで直線は急坂。5ハロン目から下り坂になるので中盤のペースが継続にくい。スタミナ&持久力が問われる。

馬場レベル&バイアス

馬場レベルで重い、Cコース替わりでイン伸び馬場。

血統傾向

欧洲血統が優勢。ノーザンダンサー系の成績が良く、日本競馬では活躍の舞台が少ないサドラーズウェルズ系の馬が3年連続で馬券になっている。冬の中山芝はロベルト系が特注血統。タフ馬場に強いステイゴールド系の馬の成績が圧倒的。

展開

内枠に先行意識が強い騎手と馬が揃った。おそらくロザムールは主張すると思うので、1コーナーまでは速くなるはず。前半1000m=60秒を切るベースになれば消耗差し決着になると思うが、インを差してくれるイメージがある馬がない。

データなど特記事項

△7歳 (1-0-2-33) ×8歳上 (0-0-0-26)

△ハンデ53kg以下 (0-0-1-22)

○前走から斤量増で当日5番人気以内 (9-3-5-6)

○ハンデ56.5kg以上で当日2番人気以内 (3-1-2-2)

×7枠: 8枠 (0-1-0-42)

×前走OP特別で10着以下 (0-0-0-15)

危険な馬

バイオスパーク=父がステイゴールド系で母がロベルトを持つ血統配合。中山一杯は前走からハンデ増の馬の成績が良いですし、内枠を引ければ素直に本命も考えていた。ところが蓋を開けてみればこの大外枠。函館記念、福島記念と重賞好走はどちらも内枠から完璧に立ち回ってのもの。

妙味大な馬

ショウナンバルディ=キャリア序盤は逃げないとダメな馬だったが、岩田騎手の教育もあって控える競馬を会得。欧洲血統なのでここに来てようやく本格化してきた感じもあり、もうハンデ戦のGIIなら通用するレベルだろう。今回は内枠を引いた馬に前に行きそうな馬が多いが、その中でも津村騎手ならある程度溜めて乗ってくれそうですし、コメントを見ても折り合い第一の競馬になりそう。有力。

穴馬

ロードクエスト=近3走は芝の中距離を使っているが、小倉記念は西村騎手の早仕掛け、福島記念は西村騎手のボンレス乗で脚を余す。チャレンジQは幸騎手で途中から捲る最悪の戦法と全てが醜い競乗。小倉記念のレースぶりからもまとめなら通用していいはずで、今回は西村騎手が三度目の騎乗。

想定時計	上3F	下3F
2:00:2	35.4	36.5

想定ラップタイム

12.2 - 10.7 - 12.5 - 11.8 - 12.4 - 12.1 -
12.0 - 11.9 - 12.0 - 12.6

Copyright (C) 2014 - KAZ

All Rights Reserved.

本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

PREVIEW
REVIEW

枠番	名前	騎手	印	総合評価	想定人気	PREVIEW	結果	REVIEW
1	ロードクエスト	西村淳	○	B	15	近3走は芝の中距離を使われているが、小倉記念は西村騎手の早仕掛け、福島記念は西村騎手のボツン騎乗で脚を余す結果。チャレンジCは幸騎手で途中から捲る最悪の戦法と全てが酷い騎乗。小倉記念のレースぶりからもまともなら通用していいはずで、今回は西村騎手が三度目の騎乗。絶好枠も引けましたし、小倉記念と福島記念の中間ぐらいの騎乗をしてくれれば大穴の可能性。	0	
2	テリトーリアル	石川	▲	B	5	一時期はスランプに陥っていた感じだが、オクトバーレースで先行策を見てから復調傾向。福島記念では今回人気になるだろうバイオスパークやヴァンケドミングと差のない競馬ができていますし、馬場や枠などは明らかにプラスだろう。ただ、この馬に乗った時の石川騎手の騎乗を見ているとかなり積極的に乗るぞう。今回は展開的にきついところを突っ込んで行くぞうで怖い。	0	
3	ココロノトウダイ	丸山	△4	C	9	一連の競馬を見ても明らかに福島巧者。血統的にはフェアリーボルカあたりと同じ中山巧者の血統になりますが、セントライト記念やスプリングSは展開や距離を考慮しても負けすぎな感じはします。今回も絶好枠は引けたと思うので、最高に上手く立ち回ってどこまでやれるかという感じ。	0	
4	マイネルサーパス	丹内	消	D	16	父アイルハヴァナナーはロベルトを持っていまし、枠順やペースが流れそうな展開を考えてもいかにもハマリそうなイメージ。ただ、七夕賞あたりから馬がおかしくなってきている印象で、ベスト条件だった福島記念で全く走れなかつたのを見てもちょっと今の状態では買いにくい。	0	
5	ショウナンバルディ	津村	◎	B	4	キャリア序盤は逃げないとダメな馬だったが、岩田騎手の教育もあって控える競馬を会得。欧洲血統なのでここに来てようやく本格化して感じる感じもあり、もうハンデ戦のGIIなら通用するレベルだろう。今回は内枠を引いた馬に前に行きそうな馬が多いが、その中でも津村騎手ならある程度溶けて乗ってくれるぞうですし、コメントを見て折り合い第一の競馬になりそう。有力。	0	
6	カデナ	三浦	消	D	8	大阪杯4着という結果を見ても能力自信はここでは最上位。イメージが反して長い直線よりも小回りコース向きの馬で、コース形態も今回合は2着イメージはある。ただ、昨年も大外枠だったとはいひ後方からロスなく捌いて差し込んで見せ場はなし。今年もおそらく内枠でも同じような競馬になるはずで、タフ馬場の中山コースで58kgだと厳しそうな感じがします。	0	
7	マウントゴールド	内田博	消	E	17	前走は長期休養明けというハンデがあったことはいえちょっと負けすぎな感じ。陣営コメントを見ても今回は積極策を取りそうですが、先行馬がスラリと捌っている点を見ても展開が向くとは思えない。	0	
8	リュヌルージュ	中井	△3	C	14	サドラーーズウェルズを持っているモンテロッソ産駒らしく、タフな上がりのかかる条件で洪と伸びてくるタイプ。エリザベス女王杯は消極的な鞍上の騎乗ミスにしてはまずまずの競馬ができていましたし、七夕賞は外差し馬場で内を通りながら牡馬とそこそこの差で競馬できていれば評価してもいいか。今回も中井騎手がどう乗るかが鍵だが人気いらないなら抑えておいても。	0	
9	ヒシグアス	松山	△2	C	3	ここ2戦はかなりのスピードベースからの競争戦で展開自体は悪めた。ハーツクライ産駒なので今回で一気にペースが上がる点は心配だが、ある程度は自在に競馬ができるタイプですし、堀厩舎で松山騎手というコンビは今回のメンバーでは信頼度は上だろう。抑えておきたい。	0	
10	アールスター	長岡	消	D	12	ここ2戦は新潟記念コース適性がゼロでなおかつ超ローに泣かされた新潟記念。明らかに距離が長くて東京コース適性もなかったアルゼンチン共和国杯と度外視できる内容。小倉記念では本命を打ちましたし、今回もコース形態は合いそう。ただ、一連のレースぶりを見てもワフ馬場が得意ではないさうで、小倉記念のような高速馬場向か。展開は向きそうだが今の馬場が微妙。	0	
11	ディープボンド	和田竜	△1	C	1	ダービー5着や菊花賞4着の結果を見ても、明け4歳世代では上位の存在だとは思うが、コントレイル、サリオス、アリストテレスあたりを除くとこの世代はレベルが低い印象。いかにも相手なりに洪とさを活かすタイプに見えますし、ここで人気で買いたい馬ではない。和田竜騎手なら積極策でしようが、今回は前に行きたい馬もそれなりにいるので展開もそこまで向かはしないか。	0	
12	ロザムール	北村宏	消	D	13	タフ馬場不器用で地味ながら相手なりに走れる先行馬。ただ、さすがに前走は馬場も展開も完璧に悪まれた感じで、それでいてタイムラントクとなると重賞ではなかなかか敵しそうな感じ。この枠から先手を奪うのもエネルギーが必要そうですし、それなりに前に行きたい馬が揃った点を見ても敵しそうなイメージです。	0	
13	シークレットラン	横山武	消	D	10	能力がありまず上がりかかる中山コース適性もあり。ただ、スピードに欠けるので今回は2000mという距離が短いはず。過去の2000mのレースを見ても4コーナーで手が動いていますし、道中でペースが緩まない重賞レベルの2000mだと厳しそう。横山武騎手がどういう方向性を立てることにも、中山金杯の7~8枠は(0-1-0-42)と最悪な成績。	0	
14	ヴァンケドミング	藤岡康	△5	C	6	福島記念は2着に負けたとはいえ、4コーナーでのコース取りを考えればバイオスパークよりも強い内容。戦歴を見ても福島巧者というのは間違いなさそうだが、本格化しつつある今なら中山でも問題なさそう。ルーラーシップ産駒の差し馬なので外を回しそうだが、外枠の馬の中では差していくイメージは最も悪く。ただ、中山金杯の7~8枠は(0-1-0-42)と最悪な成績。	0	
15	ダーリントンホール	Mデムーロ	消	E	7	ここ2戦はデムーロが乗って十八番の出遅れ2連敗。そもそもこの明け4歳世代はコントレイルとサリオス以外の馬の能力が怪しいですし、今回は外枠でなおかつ引き続きのデムーロ騎乗となると出遅れる可能性が非常に高い。木村調教師のコメントを見ても仕上がりがまだまだとのことですし、おそらく人気にもならないんじゃないだろうか。	0	
16	ワインイクシード	戸崎	消	D	11	昨年の2着馬ではあるが、どうも近走が全般期に比べると落ちるバフォーマンス。もう明け7歳になりますし、昨年に比べると能力が落ちているんじゃないだろうか。その昨年と比べても枠順が最悪ですし、前に行くならば展開が向かうぞう。下げてもズバッと差せるような馬にはなく、中山金杯の7~8枠は(0-1-0-42)と最悪な成績。	0	
17	バイオスパーク	池添	消	D	2	父がステイゴールド系で母がロベルトを持つ血縁配合。中山金杯は前走からハンデ増の馬の成績が良いですし、内枠を引ければ素直に本命も考えていた。ところが蓋を開けてみればこの大外枠。函館記念、福島記念と重賞好走はどちらも内枠から完璧に立ち回ってのもの。外を回して優位に立てるほど能力も抜けていませんし、中山金杯の7~8枠は(0-1-0-42)と最悪な成績。	0	